

## 知事と区市町村長との意見交換（瑞穂町）

令和1年9月24日（火）

13時40分～14時00分

○**行政部長** それでは意見交換を始めさせていただきます。冒頭、知事から一言お願いいたします。

○**知事** すみません。お待たせをいたしました。また、ご遠方からお越しいただきまして、誠にありがとうございます。奥多摩の町長と熊の話などしておりましたので、ちょっと長引いてしまいまして恐縮でございます。

杉浦町長にはかねてより農業祭等でお目にかかって、地元の話等少しずつ伺わせていただきましたが、今回はこうやって皆様方から、短い時間ではございますがお話を伺い、そしてまた瑞穂町の将来と、東京の瑞穂町としてどうあるべきなのか、長期ビジョンの策定もいたしておりますので伺わせていただきたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

○**瑞穂町長** 瑞穂町の町長、杉浦でございます。まず、日頃から小池都知事をはじめ、東京都の皆様には瑞穂町にご支援賜りまして、厚く御礼を申し上げます。また、本日このようなヒアリングを設けていただきまして、重ねて感謝を申し上げます。

本日、知事との意見交換に当たりまして、大きく二つのことをこの後お話申し上げたいと存じます。よろしくお聴き取りのほど、お願いを申し上げます。以上でございます。

○**行政部長** では、どうぞ。よろしくお願いいたします。

○**瑞穂町長** それでは早速お話を申し上げたいと思います。大きく二点でございます。

一つ目でございますけれども、病院を核とした広域連携。特に高齢者の病院への交通手段の確保について。そして二つ目は多摩都市モノレールの延伸でございます。

一つ目の病院への交通手段確保についてでございますが、瑞穂町、福生市、羽村市の2市1町は、公立福生病院を地域の中核病院として運営しています。二次救急、災害拠点病院等、地域にとって欠かせない医療機関となっています。最近、高齢化率の急激な上昇に伴いまして、高齢者の通院の足の確保が共通の課題として浮上しています。本日も2市の了解の下での発言でございます。

病後のフォローですとか、重症化の予防の厚い治療が重要なものと認識しているところでございますけれども、患者の通院でございますが、現在、自家用車、民間バス、タクシーが主な交通手段となっています。

2市1町もコミュニティバス、福祉バスを運行しているわけでございますが、各地域をくまなく周ること、そして特に瑞穂町では横田基地を迂回せざるを得ないことから時間が掛かり過ぎること。また、通院に最も困難な独居高齢者でございますが、公共交通にアクセスしにくい外縁部、ちょうど外周に発生するといったようなところが問題でございます。

現在の高齢化率でございますけれども、図でお示ししておりますけれども、これが2045年には2市1町とも、ほぼ50%と予想されているところでございます。現状では通院にかか

る移動を自家用車に頼ることが多いのが実情でございます。

既に高齢者による交通事故対策として、小池都知事のリーダーシップの下、自動車急発進停止装置の補助を開始していただいておりますが、各市町は同時に超高齢化に伴う免許の返上、あるいは免許の停止にも備えなくてはなりません。高齢化率の上昇に伴いまして、本年度、瑞穂町では、地域特性を踏まえた公共交通体系の見直しに着手いたしますが、東京都におかれましても、中核病院を中心としたアクセス形成にご支援をいただきたいと存じます。これが一点目でございます。

次に二つ目の多摩都市モノレールの延伸でございます。モノレールの延伸は住民の大きな要望であり希望であることは、これまでもお伝えしているところでございますが、本日は持続可能な都市形成を達成するために必要であることを、このことに触れさせていただきたいと存じます。

一つ目でございます。超少子高齢化社会の到来は、地域内消費を減退させるだけではなく、農業、工業、商業をはじめ、各種産業の担い手の減少を引き起こします。同時に、地域を保つために必要な社会資本整備にかかる税財源の減少も引き起こすこととなります。

二つ目でございます。人口減少社会を前提条件とした上で、現在の生産性を維持する労働力を確保するためには、労働人口の移動手段を確保しなければならず、その上でさらに各種産業の将来性を町で計画しなくてはなりません。

三つ目でございます。物の移動は自動車に頼らなくてはなりません。労働力人口の移動を全て自家用車に頼るのでは、渋滞による経済損失、排気ガスの増加等を招きかねず、かえって将来に問題を先送りすることとなりかねません。

図でお示しましたように、瑞穂町は特に工業製品の出荷額及び付加価値額については、区市町村内でも常に上位に位置しています。これは単独市だけで生産しているのではありません。区部及び他市に位置する企業との連携によって成り立っています。

多摩地域、特に西多摩地域の交通の脆弱性は地方自治体単独では解決できません。広域自治体である東京都には、一日も早い多摩都市モノレールの延伸をお図りくださいますよう、お願いを申し上げます。

当然のことでございますけれども、町では沿線区画整理2か所が順調に進んでいること、また、負担すべき町の財源等の確保に現在努めているところでございます。以上でございます。

○行政部長 知事、よろしく申し上げます。

○知事 ありがとうございます。まず、高齢化に伴って病院に通う高齢者も増える中において、昨今の事故を契機にして、様々な見直しや、また、免許証の返納等が進む中で、やはりどうしても車が必要な方もおられるという観点から、今回安全運転支援装置と、これを9割の負担で付けていただくことによって、少しでも安全にかつ足を確保していただく、両方を達成できるかと。今も、ずっと待ちが続いているぐらい、多くの方々が適用されておられると思います。

地域の公共交通については、広域連携による取り組みも重要でございますので、今日の

お話にございましたように、どのような有効な対策を講じることができるのか、これは次の多摩都市モノレールにも絡むところでございますけど、また皆様方のお話も伺いながら連携していきたいと、このように思っております。

それから多摩都市モノレールですけれども、箱根ヶ崎方面への延伸でございますけれども、これが実現しますと開業区間と一体となって、南北方向の拠点が結ばれることとなりますので、多摩地域全体の活力活性化に繋がるという見方でございます。

今、お話にありましたように、いくつかもう交差点等の準備も始めておられるということでございまして、地元の街づくりの進捗を踏まえて計画の熟度を上げていく等、これからもまだ関係機関との協議、調整もございます。これらも踏まえまして、交通インフラの充実、強化に取り組むことによって、瑞穂町やその地域の関連の市等を含めて全体で向上するような仕掛けを考えていきたいと思っております。

長期ビジョンの策定は今年末までにと考えておまして、まずそれで策定をさせていただいた上で、あとさらに肉付けをする等して進めてまいりたいと考えております。やはり東京は、それぞれに個性があって、それぞれのその特性を活かした発展の仕方、また持続可能な成長を遂げていただきたいという思いでございますので、また引き続き様々な点で連携を取らせていただきたいと思っております。

○行政部長 杉浦町長、何かございますでしょうか。

○瑞穂町長 ありがとうございます。まず、お爺ちゃん、お婆ちゃんの病院への足の確保なんですけど、どうしても車を運転されない方もいらっしゃいます。この方達はどうやって中核病院に運ぶのが非常に大きな問題でして、将来の社会保障関連経費、これも抑制しなければなりませんので、こういった所へのアクセスが非常に重要になるというふうに考えております。

また、二点目でございます。先ほど知事が仰ったとおりでございます。多摩地域、区部とそれから多摩地域の連携というのは、普通の一般の方が考えているよりも非常に深いものがあります。これは特に工業製品の生産性では切っても切れない仲というふうに考えております。こういったところで人の流れというものをしっかりとつくらなければ、その人口増加が望めない中でその労働人口をどうやって移動させるのかというような、とても大きな問題でございますので、こういったところも視点に入れていただければ大変ありがたいというふうに思っております。

○副知事 補足させていただきますと、瑞穂町は町の南側半分をちょうど横田基地が真ん中であって、真っ二つに町の区域を切り裂いているというような、本当に特殊な状況にあるということをよく承知しております。

先ほど知事からもお話がありましたように、コミュニティバスのより効果的なその活用等、これから都といたしましても一緒になってやっていきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

○行政部長 町長、いかがでしょうか。折角ですから。

○瑞穂町長 私の方で今日は申し上げたいことを今知事にも申し上げましたけど、もう一

つ感謝申し上げたいのは、今回の台風で島しょ部が非常に被害を受けまして、千葉が非常に大きく報道されていますけれども、今日も町村会の会長と一緒に足を運んでいただいたというように聞いております。

島しょ部が非常に被害に遭っているということがありましたので、動きも早かったというふうに、私、小池都知事のニュースを見ながら、そういうふうに思っておりました。大変ありがとうございます。今後ともよろしくお願いを申し上げます。

○行政部長 よろしいでしょうか。では、これで意見交換を終わりますが、最後に知事、一言お願いいたします。

○知事 今日はわざわざありがとうございました。また、皆様方ともしっかり連携を取りながら、東京全体がどのようにして成長可能な、また持続可能な地域であるか、それをしっかりと、この後ラグビーが終わって2020年のオリンピック、パラリンピックと控えておりますけれども、その先をずっと見つめながら進めていかなければ、もうその時になれば too late でございますので、取り組んで参りたいと思います。本日はありがとうございました。

○行政部長 ありがとうございました。これで意見交換を終わります。